

平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成 29 年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個人正会員	1764 名	うち海外在住外国人正会員 9 名
特別正会員	27 名	
団体正会員（公益）	74 口	
団体正会員	66 口	
学生会員	422 名	
名誉会員	15 名	
合 計	2368 名	

〔2〕運営に関する会議

1. 通常総会の開催

第 37 回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成 29 年 6 月 16 日（金） 13 時 00 分～13 時 37 分
- (2) 場 所 タワーホール船堀（東京都江戸川区）
- (3) 出席者 1,109 名
- (4) 議 題

- 1) 平成 28 年度決算（案）について
- 2) 理事および監事の選任について
- 3) 顧問および参与の選任について
- 4) 名誉会員の推挙について

報告 平成 28 年度事業報告

総会に続いて、各賞の発表と表彰、受賞者講演、特別講演が行われた。

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第 113 回理事会

- 1) 日 時 平成 29 年 5 月 23 日（火） 17 時 02 分～19 時 15 分
- 2) 場 所 学会事務局（東京都江東区）
- 3) 出席者 古米会長他理事 16 名、監事 2 名、運営幹事 2 名、他に事務局
- 4) 内 容

- ア. 入退会者等の承認
- イ. 事務処理規則の改定
- ウ. パートタイム労働者就業規程の改定
- エ. 研究委員会の活動報告と継続申請
- オ. 派遣招聘対象者の選考
- カ. 名誉会員・学術賞・論文賞・論文奨励賞・技術賞・技術奨励賞・45周年記念功労賞の選考
- キ. 理事・監事候補者の選考
- ク. 第37回通常総会の議案整理
- ケ. 第37回通常総会の準備について
- コ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告事項
- サ. その他

(2) 第114回理事会

- 1) 日 時 平成29年6月16日(金) 14時27分～14時45分
- 2) 場 所 タワーホール船堀303会議室(東京都江戸川区)
- 3) 出席者 理事18名、監事1名、事務局長
- 4) 内 容
 - ア. 会長の選任
 - イ. 副会長、常務理事及び運営理事(担当理事)の選任
 - ウ. 副会長の会長業務執行に係る職務の代行順序の決定
 - エ. 表彰委員会委員長の委嘱

(3) 第115回理事会

- 1) 日 時 平成29年7月25日(火) 17時04分～18時33分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 小野会長他理事16名、監事2名、運営幹事3名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 会長より今期の方針・構想について
 - イ. 規程制定および改定について
 - ウ. 担当理事の交代について
 - エ. 今期の運営組織体制と運営幹事の選任について
 - オ. 入退会者等の承認
 - カ. IWA東京会議参加助成について
 - キ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告事項
 - ク. 各支部より報告事項
 - ケ. その他

(4) 第116回理事会

- 1) 日 時 平成29年9月26日(火) 12時35分～13時05分
- 2) 場 所 和歌山大学システム工学部A棟2階A203(E会場) (和歌山県和歌山市)

3) 出席者 小野会長他理事 19 名、監事 3 名、運営幹事 3 名、他に事務局

4) 内 容

- ア. 入退会者等の承認
- イ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- ウ. 年会、シンポジウム、WET 会議の開催支部より準備状況の報告
- エ. その他

(5) 第 117 回理事会

1) 日 時 平成 30 年 3 月 16 日 (金) 12 時 15 分～13 時 10 分

2) 場 所 北海道大学工学部 N 棟 N310 教室 (北海道札幌市)

3) 出席者 小野会長他理事 19 名、監事 2 名、運営幹事 12 名、他に事務局

4) 内 容

- ア. 規程改定
- イ. 入退会者等の承認
- ウ. 研究委員会新設申請
- エ. 消費税率変更に伴う会費値上げについて
- オ. 「水環境の百科 (仮)」の出版企画概要と出版契約について
- カ. 平成 30 年度事業計画 (案) と予算 (案)
- キ. 代表理事、業務執行理事の職務執行の報告
- ク. その他

〔3〕運営方法および財政改善に関する検討

健全な運営のための業務改革と財政改善を積極的に推進した。

〔4〕年会

第 52 回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

- 1. 開催日 平成 30 年 3 月 15 日 (木)～17 日 (土)
- 2. 場 所 北海道大学工学部 (北海道札幌市)
- 3. 参加者 1278 名
- 4. 一般発表：発表件数 678 件 (口頭 478 件+ポスター 200 件) の他、特別講演会、企業展示、団体
会員説明会、水環境ビジネスガイダンス、各賞の発表と表彰が行われた。

〔5〕シンポジウム

第 20 回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

- 1. 開催日 平成 29 年 9 月 26 日 (火)～27 日 (水)、28 日 (木) はテクニカルツアー
- 2. 場 所 和歌山大学 (和歌山県和歌山市)
- 3. 参加者 471 名
- 4. 19 の研究委員会と本部企画、支部企画によるセッションの他、企業展示、特別講演会、各賞の
発表と表彰が行われた。

〔6〕 国際会議

Water and Environment Technology Conference 2017(WET2017)を開催した。

(一部は、水 ing 株式会社からの出捐事業であった。)

開催日 平成 29 年 7 月 22 日(土)～23 日(日)

場 所 北海道大学学術交流会館 (北海道札幌市)

〔7〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行し、科学技術振興機構 (JST) が運営する J-STAGE 上で公開した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文編およびバックナンバーを科学技術振興機構 (JST) が運営する J-STAGE 上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」の Vol.1～Vol.30 の PDF 版を収めた DVD-ROM を販売した。

〔8〕 IWA 活動への協力

1. IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。
2. IWA World Water Congress 2018 in Tokyo 準備委員会の活動に参加し、会議の準備を推進した。

〔9〕 出版企画

1. “Water Pollution Control Policy and Management: The Japanese Experience” 改訂版の編集を行った。
2. 「水環境の百科 (仮)」の編集を行った。

〔10〕 支部活動

7 支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー、見学会、表彰等を実施した。

〔11〕 研究委員会活動

21 研究委員会 (嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、身近な生活環境、微生物生態と水環境工学、バイオアッセイによる安全性評価、土壌地下水汚染、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育 (WEE21)、膜を利用した水処理技術、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術、システム解析、電気化学的技術、熱帯・亜熱帯地域水環境、農産業に関わる水・バイオマス循環技術、将来の水環境変化に対応した水供給システム) が、シンポジウムでセッションを企画するなどそれぞれ活動を行った。

〔12〕 表 彰

平成 29 年度の学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞 (廣瀬賞)、技術賞、技術奨励賞、水環境文化賞および支部活動優良賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した (敬称略)。また、年会優秀発表賞、年会学生ポスター発表賞、博士研究奨励賞、水環境国際招聘賞、水環境国際活動賞、年間優秀論文賞および WET 優秀賞を選考し、次の各氏に授賞した (敬称略・50 音順)。

(1) 学会賞

受賞者

ふるまい ひろあき
古米 弘明 (東京大学大学院工学系研究科・教授)

(2) 学術賞

受賞者

たきざわ さとし
滝沢 智 (東京大学大学院工学系研究科・教授)

対象研究

水処理技術の機構解明とその応用および水供給システムに関する研究

(3) 論文賞

受賞者

さの だいすけ
佐野 大輔 (東北大学大学院環境科学研究科・准教授)

主要対象論文

Bacterial histo-blood group antigens contributing to genotype-dependent removal of human noroviruses with a microfiltration membrane

掲載誌

Water Research, Vol.95, 383-391 (2016)

(4) 論文奨励賞 (廣瀬賞)

受賞者

おおくぼ つとむ
大久保 努 (木更津工業高等専門学校・准教授)

対象論文

Development of a new non-aeration-based sewage treatment technology: Performance evaluation of a full-scale down-flow hanging sponge reactor employing third-generation sponge carriers

掲載誌

Water Research, Vol.102, 138-146 (2016)

受賞者

さとう ゆういち
佐藤 祐一 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター・主任研究員)

対象論文

琵琶湖における難分解性有機物の起源: 発生源における生分解試験とボックスモデルによる推計

掲載誌

水環境学会誌, Vol. 39, 17-28 (2016)

受賞者

みやけ ゆういち
三宅 祐一 (静岡県立大学・助教)

対象論文

Halogenated Polycyclic Aromatic Hydrocarbons in Soil and River Sediment from E-waste Recycling Sites in Vietnam

掲載誌

Journal of Water and Environment Technology, Vol.14,166-176 (2016)

(5) 技術賞

該当者なし

(6) 技術奨励賞

受賞者

おかもと たかひろ
岡本 高弘 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター)

いまい あきお
今井 章雄 (国立環境研究所)

ばんば だいや
馬場 大哉 (東レテクノ株式会社)

たけい なおこ
武井 直子 (東レテクノ株式会社)

対象調査研究

湖沼・河川および発生源における難分解性有機物の標準的分析手法の確立

受賞者	やまもと 山本	のりふみ 哲史	(大成建設株式会社)
	さいとう 斎藤	ゆうじ 祐二	(大成建設株式会社)
	くさか 日下	じゅん 潤	(大成建設株式会社)
	たき 瀧	ひろのり 寛 則	(大成建設株式会社)
	いけ 池	みちひこ 道彦	(大阪大学)
	いのうえ 井上	だいすけ 大介	(大阪大学)
	くろだ 黒田	まさし 真史	(大阪大学)
	せい 清	かずなり 和成	(北里大学)
	えぐち 江口	まさひろ 正浩	(オルガノ株式会社)
	つだ 津田	ゆたか 裕	(オルガノ株式会社)
対象技術	高効率 1, 4-ジオキサン分解菌 N23 株を用いた連続回分処理技術		

(7) 水環境文化賞

1) 水環境文化賞

受賞者 特定非営利活動法人 環境教育技術振興会 (大阪府松原市)

対象活動 南泉州地域を中心とした水環境保全・創造活動

受賞者 ひろさき環境パートナーシップ21 (青森県弘前市)

対象活動 弘前だんぶり池における自然環境の再生・復元および維持管理活動

2) 水環境文化賞「児童・生徒の部 (みじん子賞)」

受賞者 西岡さかな組 (北海道札幌市)

対象活動 西岡公園における水辺の生き物調査による水環境保全活動

(8) 支部活動優良賞

該当なし

(9) 年会優秀発表賞及び年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

1) 年会優秀発表賞

いわの 岩野	ひろし 寛	(東北大学大学院)
おおつる 大津留	ともき 知樹	(北里大学大学院)
かわい 河合	ひろき 大樹	(北海道大学大学院)
くりばら 栗原	なおき 尚輝	(群馬大学大学院)
こばやし 小林	かなえ 香苗	(北海道大学大学院)
すずき 鈴木	みゆ 美有	(東京大学大学院)
すだ 須田	かずみ 和美	(東京農工大学大学院)
たにた 谷田	みほ 実穂	(京都大学大学院)

つつみ	ゆうや	
堤	裕也	(山梨大学大学院)
てらち	ひろやす	
寺地	裕康	(広島大学大学院)
とりい	しょうたろう	
鳥居	将太郎	(東京大学大学院)
なかざわ	よしふみ	
中沢	禎文	(北海道大学大学院)
のざき	いっさ	
野崎	一茶	(愛媛大学大学院)
まつなが	こうじ	
松永	光司	(北海道大学大学院)
やまさき	そうし	
山崎	創史	(東京大学大学院)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の15名に「年会優秀発表賞」を授与した。)

2) 年会優秀発表賞受賞者国際会議発表助成

いぐち	あきのり	
井口	晃徳	(新潟薬科大学)
くろだ	けいすけ	
黒田	啓介	(国立環境研究所)

(公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の2名に国際会議発表の旅費等を助成した。)

(10) 年会学生ポスター発表賞 (◎：最優秀賞)

いわや	ふみか	
岩谷	文香	(秋田県立大学)
かみがいと	あつし	
上垣内	厚志	(北海道大学)
しらかわ	だいき	
白川	大樹	(北海道大学)
すずき	もとあき	
鈴木	元彬	(東京大学)
とだ	まさひと	
戸田	聖士	(高知大学)
にしざわ	しょうた	
西澤	祥太	(北海道大学)
はとはら	しょう	
鳩原	翔	(東北大学)
はやし	ひろゆき	
林	寛之	(北海道大学)
みやうち	しんたろう	
◎宮内	信太郎	(東洋大学)
やすい	みどり	
安井	碧	(東京大学)
やなぎや	たける	
柳谷	将	(東洋大学)
よしだ	こうき	
吉田	光輝	(金沢大学)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の12名に「年会学生ポスター発表賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(11) 博士研究奨励賞 (◎：最優秀賞)

いしざき	そう	
石崎	創	(ヤンマー株式会社)
ばん	ろん	
◎潘	瓏 (Long Pan)	(北海道大学、Beijing LinkData Technologies Co., Ltd.)
	Kalahe Panditha Koralage Mohan Amarasiri	(北海道大学)

(オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、第20回シンポジウムで発表した上記の3名に「博士研究奨励賞」を授与し、うち1名に最優秀賞を授与した。)

(12) 水環境国際招聘賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Exchange Award)

Zhuo Chen (Tsinghua University, China)

Jeonghwan Kim (Inha University, Korea)

Guangyin Zhen (East China Normal University, China)

(いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第52回年会で研究発表を行った上記の3名の海外在住外国人会員に対し、「水環境国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。)

(13) 水環境国際活動賞 (JSWE-IDEA Water Environment International Activity Award)

該当者なし

(14) 年間優秀論文賞

対象論文 芹川ダムにおけるかび臭物質産生藍藻及び2-メチルイソボルネオールの推移についての評価

受賞者 高橋威一郎、高瀬勝教、竹下佳代子、河野博幸、馬見塚守、岐津英明
大分市水道局管理部浄水課

掲載誌 水環境学会誌, Vol.39, No.2, 51-62 (2016)

対象論文 Biological 1,4-Dioxane Wastewater Treatment by Immobilized *Pseudonocardia* sp. D17 on Lower 1,4-Dioxane Concentration

受賞者 Kazuichi ISAKA¹⁾, Makiko UDAGAWA¹⁾, Yuya KIMURA¹⁾, Kazunari SEI^{2,3)}, Michihiko IKE³⁾

¹⁾ Matsudo Research Center, Infrastructure System Company, Hitachi, Ltd.

²⁾ School of Allied Health Sciences, Kitasato University

³⁾ Division of Sustainable Energy and Environmental Engineering, Osaka University

掲載誌 *Journal of Water and Environment Technology*, Vol.14, 289-301 (2016)

(メタウォーター株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の論文の著者に平成28年「年間優秀論文賞」を授与し、第20回シンポジウムでの受賞者講演会の発表者に旅費等を助成した。)

(15) WET 優秀賞

1) WET Excellent Paper Award (WET 優秀論文賞)

対象論文 Applicability of mathematical model for biomass production by indigenous microalgae based on cultivation characteristics at different wastewater treatment plants

受賞者 Yugo TAKABE^a, Shuji Himeno^b, Yuji Okayasu^a, Mizuhiko Minamiyama^a, Toshiya Komatsu^b, Yukiyo Yamasaki^a, Ryuji Uematsu^a

(a: Public Works Research Institute, b: Nagaoka University of Technology)
対象論文 Seasonal variation in ability of wastewater treatment for reduction in biological effects evaluated based on algal growth
受賞者 Fumihiko Takeda, Mizuhiko Minamiyama, Seiichiro Okamoto
(Public Works Research Institute)

2) WET Excellent Presentation Award (WET 優秀発表賞)

Mitsuru AMANO	(The University of Tokyo)
Kazunori EBATA	(University of Yamanashi)
Anwar HOSSAIN	(Yokohama National University)
Mari KASUYA	(University of Yamanashi)
Naoyuki KISHIMOTO	(Ryukoku University)
Kanae KOBAYASHI	(Hokkaido University)
Bikash MALLA	(University of Yamanashi)
Charuka Saamantha MEEGODA	(Hokkaido University)
Satoshi NAKADA	(Kobe University)
Yuko NARITA	(Hokkaido University)
Phanwatt PHUNGSAI	(The University of Tokyo)
Chomphunut POOPIPATTANA	(The University of Tokyo)
Xiaohang SUN	(Muroran Institute of Technology)
Nan WEI	(The University of Tokyo)
Satoru YUKIOKA	(Kyoto University)
ZULKARNAINI	(Kanazawa University)

(水 ing 株式会社からの出捐顕彰事業として、WET2017 の参加者のうち、上記 16 名の発表者に「WET Excellent Presentation Award」を授与した。WET2017 での発表に対する WET Excellent Paper Award は WET2018 で授与される。)

[13] 国際活動

国際会議の開催、国際活動への助成、外国人研究者の招聘、IWA 活動への協力などを行った。国際連携会員の拡大に努めた。

また、国際会議参加援助として、京都会議記念基金を基に、橋本くるみ氏(広島大学)と秋月 真一氏(創価大学)に対して平成 29 年 9 月 11 日～13 日にクアラルンプール(マレーシア)で開催された 7th IWA –ASPIRE Conference 2017 & Water Malaysia Exhibition 2017 参加のための渡航費用等を助成した。

[14] その他の事業活動

1. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第 26 回市民セミナー

1) テーマ 水環境におけるマイクロプラスチックに関する最新の動向

- 2) 開催日 平成 29 年 8 月 4 日(金)
 - 3) 場 所 東京会場：地球環境カレッジホール（東京都世田谷区）
大阪会場：いであ(株)大阪支社 ホール（大阪市住之江区）
 - 4) 参加者 東京会場 89 名、大阪会場 32 名
- (2) 第 63 回日本水環境学会セミナー
- 1) テーマ 第 8 次水質総量削減～下水の高度処理と閉鎖性海域の環境管理～
 - 2) 開催日 平成 30 年 2 月 2 日(金)
 - 3) 場 所 自動車会館大ホール（東京都千代田区）
 - 4) 参加者 81 名

2. 見学会の実施

第 32 回見学会を次のとおり実施した。

- 1) 開催日 平成 29 年 10 月 23 日（月）
- 2) 場 所 国立研究開発法人 海洋研究開発機構（神奈川県横須賀市）
- 3) 参加者 27 名

3. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会を次のとおり開催した。

(1) 第 42 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 29 年 7 月 7 日(金)
- 2) 場 所 日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
- 3) テーマ 水道事業と官民連携
- 4) 参加者 36 名

(2) 第 43 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 29 年 9 月 22 日(金)
- 2) 場 所 日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
- 3) テーマ 環境分野における A I の事例、展望
- 4) 参加者 43 名

(3) 第 44 回水環境懇話会

- 1) 開催日 平成 30 年 2 月 15 日(木)
- 2) 場 所 日本大学理工学部駿河台校舎(東京都千代田区)
- 3) テーマ 無機凝集剤の特性と浄水処理における機能について
—超高塩基度 P A C の普及について—
- 4) 参加者 42 名

4. その他

- (1) 関連学協会の講演会等を協賛・後援した。
- (2) IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。
- (3) 日本学術会議と連携して活動する防災減災・災害復興に関する学会ネットワーク「防災学術連携

体」に継続して参画した。

- (4) 幹事学会として第31回環境工学連合講演会（日本学術会議 土木工学・建築学委員会主催）の開催準備を進めた。